

開講年次・時期	2年通年	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	医療的ケアⅡ	担当者名	橋爪 直美
授業の概要	医療職と連携のもと、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を身に付ける。基礎知識の定着を確認しながら、シミュレーターを使用した演習により安全に実施するための技術について学ぶ。準備から後片付けまでの一連の流れを感染予防に留意しながら実施していく。				
科目の到達目標	①喀痰吸引と経管栄養について、安全・適切に実施できるよう、知識と技術を習得する。 ②清潔操作について理解し、実施できる。医療的ケアを受ける人の気持ちを理解し、説明と同意を得ることができる。 ③共通専門用語を理解し、医療職への報告・連絡・相談および情報の共有ができる。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑧実践力(20) ⑨主体性(20)				
授業時間外学修(予習・復習)	テーマ、内容に合わせて、テキスト内に記載されている技術写真を確認し、演習に臨む。授業計画に沿って準備学習2時間と復習2時間を行う。				
フィードバックの方法	授業担当者よりその都度、技術確認のうえ個々の必要性に合わせた指導がある。				
単位認定の要件	知識として、5回目授業内で実施される筆記試験(※注)において、正解率9割以上を合格とする。技術として、演習において一つの技術につき一人5回以上ずつ実施すること。最終技術確認では、厚生労働省の規定に基づいた内容で判断し、基準へ達していることが認定要件となる。(※注)社会状況の変化により、50時間の講義時間を確保するため、技術習得のための内容であるため、演習への参加状況も加味し評価する。				
評価の方法・割合(%)	授業内提出物 30%、授業内活動(技術チェックを含む) 70%				
履修上の注意事項	医療的ケア基本研修の演習科目として位置づけられる。(5回目まで講義と試験。最終試験90点以上で演習へ進むことができる)厚生労働省の定めにより、実時間50時間の講義を受講、演習は各技術5回以上ずつと救急蘇生法を1回以上実施する。30分以上の遅刻・早退が3回みとめられた場合、1回の欠席とし換算する。介護福祉士資格取得必須科目				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			医療的ケアの必要性	⑥⑦	手技確認シート
2			高齢者及び障害児・者の経管栄養手順①(経管栄養小テスト)	⑥⑦	手技確認シート
3			高齢者及び障害児・者の経管栄養手順②(手順方法のDVD視聴)	⑥⑦	手技確認シート
4			高齢者及び障害児・者の経管栄養手順③(胃ろう・経鼻の留意点)	⑥⑦	手技確認シート
5			高齢者及び障害児・者の経管栄養手順④(最終筆記試験実施)	⑥⑦	手技確認シート
6			演習についてのオリエンテーション、喀痰吸引の手順方法DVD視聴	⑥⑦	手技確認シート
7			口腔内からの吸引①	⑥⑧⑨	手技確認シート
8			口腔内からの吸引②	⑥⑧⑨	手技確認シート
9			口腔内からの吸引③	⑥⑧⑨	手技確認シート
10			口腔内からの吸引④	⑥⑧⑨	手技確認シート
11			鼻腔内からの吸引①	⑥⑧⑨	手技確認シート
12			鼻腔内からの吸引②	⑥⑧⑨	手技確認シート
13			鼻腔内からの吸引③	⑥⑧⑨	手技確認シート
14			鼻腔内からの吸引④	⑥⑧⑨	手技確認シート
15			気管カニューレからの吸引①	⑥⑧⑨	手技確認シート
16			気管カニューレからの吸引②	⑥⑧⑨	手技確認シート
17			気管カニューレからの吸引③	⑥⑧⑨	手技確認シート
18			気管カニューレからの吸引④	⑥⑧⑨	手技確認シート
19			口腔内からの吸引技術確認	⑥⑧⑨	手技確認シート
20			鼻腔内からの吸引技術確認	⑥⑧⑨	手技確認シート
21			気管カニューレからの吸引技術確認	⑥⑧⑨	手技確認シート
22			胃ろう、腸ろうからの経管栄養①	⑥⑧⑨	手技確認シート
23			胃ろう、腸ろうからの経管栄養②	⑥⑧⑨	手技確認シート
24			胃ろう、腸ろうからの経管栄養③	⑥⑧⑨	手技確認シート
25			胃ろう、腸ろうからの経管栄養④	⑥⑧⑨	手技確認シート
26			経鼻胃管栄養カテーテルからの経管栄養①	⑥⑧⑨	手技確認シート
27			経鼻胃管栄養カテーテルからの経管栄養②	⑥⑧⑨	手技確認シート
28			経鼻胃管栄養カテーテルからの経管栄養③	⑥⑧⑨	手技確認シート
29			経管栄養の技術確認①	⑥⑧⑨	手技確認シート
30			救命救急に伴う一連の動作を実施、AEDの使用方法	⑥⑦⑧⑨	手技確認シート
期末試験			最終技術試験を実施する		

使用テキスト	新・介護福祉士養成講座15「医療的ケア」(中央法規) 荘村明彦
参考文献 参考URL	気管吸引教育ガイド(メディカ出版)長谷川素美、看護技術がみえるVol.2臨床看護技術 株式会社メディックメディア
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--